皇大神宮　一般に内宮と申し奉る、祭神は申すも畏きことながら、皇祖天照坐皇大御神であらせらる。謹みかしこみて、大御前に額づき奉れば、自然に神氣肺肝に徹し、只管皇國の隆昌を念じ参らすのみである。

豊受大神宮　外宮と申し奉る、皇大御神の尊崇し給へる御饌都神に坐し、吾が國民生活の源泉たる衣食住の基を開き給ひし大御神で雄略天皇の二十二年、丹波の國から現在の地に奉遷せられたのである。

倭姫宮　内宮別宮として倉田山に鎭り坐す、祭神倭姫命は、垂仁天皇の第二皇女にましまし、皇大御神の御扶代として、大宮地を求め、幾十年の間諸國を巡歷して、終に今の五十鈴川の川上に萬代不易の大宮居を創建し給ふた、御偉徳の女神にあらせらるる。

◉神都案内

◉神都記念館　參急電鐵終點驛前に在り省線山田驛よりは東約三丁の處、記念館は京都御所御大典用の神樂舍を其儘移築せしものにて御遷宮の祭事模型を陳列し又歷史館は建國以來の重大史蹟十八種を選び油繪を背景として活人形を配し電氣照明によつて精巧なるパノラマを展開す。

觀覽料　大人　十錢　小學生　三錢
　　小人　五錢　中等學校　五錢　其他團体割引あり

◉徵古館、農業館　倉田山にあり。徵古館は神宮の寶物を始め上古以來の遺物、服裝、器具、古書畫等を農業館は農林、水產、牧畜工藝に關する器具、標本を陳列して一般の觀覽に供す。

◎市内の名所舊蹟

宮川、蓮隨山、高倉山、宮崎文庫、世義寺、小田橋、虎尾山、間の山、古市、大林寺、寂照寺、五十鈴川、法度口、結城宗廣墓、光明寺、倉田山、神宮文庫

◉宇治山田旅館一覽表

㈠内宮方面

町名	電話	旅館名	室數	疊數
今在家町	九六	對泉閣	三	二五
同町	二〇三	五鈴館	二四	二四
同町	三五	神洲館	一五	一九
同町	五九	奥野家	八	三〇
中ノ切町	二四	鮎久	二	一五

㈡古市方面

町名	電話	旅館名	室數	疊數
古市町	五七(八)	油屋本店	四	三一
同町	二七	雨口屋	九	二〇五
同町	一六四	桂木屋	二	一六
同町	三五	芳虎屋	一〇	八七
同町	八八	津ノ國屋	二四	一六
同町	九三	松屋	一三	一〇六
中ノ町	二八五(二)	大安	四	三五
同町	二〇三	麻吉	三	二〇
同町	二〇三	武藏屋	三	二〇
同町	六七	矢津屋	七	三三
久世戸町	三三	常磐前	八	一〇六
倭町	六四	角屋	七	四四

㈢山田驛及外宮前附近

町名	電話	旅館名	室數	疊數
本町	九	油屋支店	九	八六
同町	五二(八)	宇仁館	四	二五
同町	一〇五(三五六)	高千穗館支店	五	三三
同町	二九	松島館	三	二八
同町	三二	藤屋	洋室四	一四
同町	四四	中村屋	三	一三
同町	三三	橘屋	四	一三
同町	二〇五	きく勢屋	四	一五
同町	一七	佐伯本館	三	一六
同町	二九	佐伯別館	一八	一〇一
同町	二九	宮前本館	六	一〇一
同町	二九	宮前別館	七	四二
同町	四〇	大和館	六	一九
同町	三〇	朝日館	三	一三
同町	五二	大橋館	八	三四
同町	七一	西つ川屋	七	三四
同町	八四	大日館	六	二四
同町	三六	市大夫屋	三	一九
同町	二〇四	惠賓		一三

㈣河崎方面

町名	電話	旅館名	室數	疊數
河崎町	六八	龜屋	一〇	八〇
同町	三七	花屋	八	六四

㈤山田上口驛及北廊方面

町名	電話	旅館名	室數	疊數
大世古町	一五五(一)	戸田家	二	一七
同町	八二	まる正	一〇	八〇
同町	二三	松本	一二	八四
曾禰町	二三	かつら	八	四四
同町	一五	柳屋	一二	一〇〇
同町	一〇九	柏屋	洋室二三	九三
同町	一〇九	奥山旅館	九	五三
同町	五九	一月家	一四	九九
同町	九九	中村屋別館	一〇	一六
同町	一三	丸市屋	一三	六三
同町	二七	紅葉軒	七	四三
同町	四二	若美屋	一四	八七
同町	一二(乙)	青木屋	一四	八七
同町	四三	奥文	七	五三
常磐町	七八	田中屋	七	二〇

㈥宮川方面

町名	電話	旅館名	室數	疊數
浦口町	四四	田中屋	七	二〇
同町	三二(一)	おる福	七	四四
辻久留町	六〇	須賀屋	五	四〇
同町	四七	まき屋	一三	九一
同町	八九	上野屋	四	三三
二俣町	二	上野屋	五	三三
同町	四七	藤むら家		

御宿料ハ上記ノ通リデアリマスカラ御止宿ノ場合ハ何レカノ内ヲ御定メ下サイマシテ御泊リヲ願ヒマス尚團体在鄉軍人青年團學生等ノ團体御宿泊ノ場合ハ特ニ御相談ニ應ジマス

御宿料

（甲部）	五、〇〇
	四、〇〇
	三、〇〇
	二、〇〇
（乙部）	四、〇〇
	三、〇〇
	二、〇〇
	一、五〇
（御中飯）	各等の半額

本市のモットー

申す迄もなく本市は神宮御鎭座によりて創建せられたのでありまず隨つて益々御神德の發揚に努め兼て參宮者の歡待に任することは二千年來傳統の使命であり本分でありますから故に平素清潔と親切を以て全市民の**モットー**とし互に相戒め相勵みて怠りなからんことを期して居ります。旅館業者も内容の改善を圖り皆樣の御期待に副ふ樣努力致して居りますが非常込み合ひの場合心ならざる不行屆は御容赦を願ひますが計算其他に付腑に落ちぬこと共ありました節は御遠慮なく御申出下さい

宇治山田市役所
宇治山田旅館業組合

◎里程、乘物其他賃金表

里程表（山田驛起点）

	里町
内宮	一、一六
古市	二〇
徵古館	三三
岡本町	一〇
市役所	六
外宮	四
新道	一〇
新町	一三
八日市場	一〇
筋向	九
宮川	二六
船江	一七

人力車賃金表（山田驛起点）

	錢
外宮	三五
外宮ヲ經テ宇治橋前迄	六四
外宮内宮復	一、一五
外宮内宮徵古館ヲ經テ復	一、九五
古市徵古館	三五

外宮ヲ經タル時ハ十五錢增
徵古館農業館觀覽料ハ拾錢但シ二百人以上ハ半額トス
一俥乘客頭ハ五十人一座トシ金五圓トス

自動車賃金（山田驛起点）

	圓
貸自動車一時間	四、〇〇以内
山田驛及外宮ヨリ内宮迄	一、五〇
市内宇治ヲ除ク	一、〇〇
内宮行乘合	一人、三〇

馬車賃金（外宮前起点）

	錢
古市	三
中ノ町	六
宇治	三
御幸通リ迄	四、

電車賃金

一、山田・内宮間
片道　十八錢
往復　三十六錢
一、山田・二見間
片道　十六錢
往復　二十八錢
一、内宮・二見間
片道　二十四錢
往復　四十八錢
一、全線（一周）　五十錢
一、團体乘車ニハ割引ノ制アリ

七八分毎ニ發車シマス
途中楠部ヨリ朝熊岳登山鐵道ニ聯絡アリ

朝熊登山鐵道

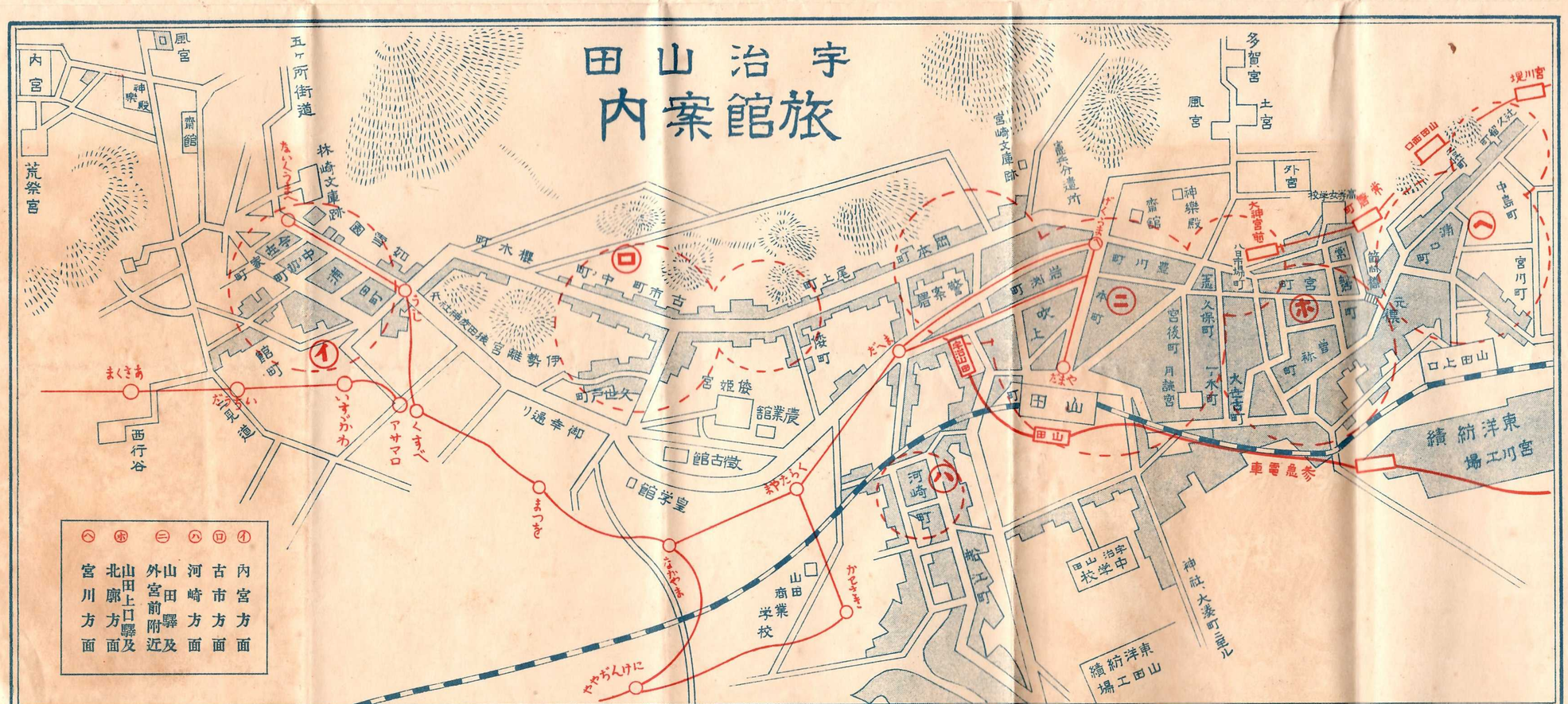
楠部間片道　三四錢
朝熊岳往復　六四錢
山上片道　二十錢
自動車往復　四十錢

案内料金

外宮案内　三〇錢
内宮　三〇
外宮内宮及市内　八〇

御神樂料

大々神樂卅圓以上
大神樂十五圓
小神樂七圓

御祈禱料金

御祈禱料　一圓以上